

# 強者の戦略

【最後の追い込みの時期ですね】

センター試験お疲れさまでした。北林です。先日は関西も雪が降っていました。寒いですね。インフルエンザが流行っているそうなので、気をつけてください。手洗いとうがいは欠かさないようにね。睡眠不足もダメですよ。

さて、今日は何をやらしてもらおうかと少し前から考えていると.....ありすぎてぱっと思いつきません。で、そんな考えている間に、生徒の添削希望の答えがばんばんきました。そこで気になった問題についてとりくんでもらおうと思います。

問題 2010年の東大の大論述です。みなさんよく知っている問題ですね。

ヨーロッパ大陸のライン川・マース川のデルタ地帯をふくむ低地地方は、中世から現代まで歴史的に重要な役割をはたしてきた。この地方では早くから都市と産業が発達し、内陸と海域をむすぶ交易が展開した。このうち16世紀末に連邦として成立したオランダ(ネーデルラント)は、ヨーロッパの経済や文化の中心となったので、多くの人材が集まり、また海外に進出した。近代のオランダは植民地主義の国でもあった。

このようなオランダおよびオランダ系の人びとの世界史における役割について、中世末から、国家をこえた統合の進みつつある現在までの展望のなかで、論述しなさい。解答は解答欄(イ)に20行以内で記し、かならず以下の8つの語句を一度は用い、その語句に下線を付しなさい。

グロティウス	コーヒー	太平洋戦争	長崎
ニューヨーク	ハプスブルク家	マーストリヒト条約	南アフリカ戦争

さて、完成させなくてもいいですから、構成のメモや下書きをつくってみてください。  
問われたことにしっかりと答えてくださいね。

それから、もしよければ東大や京大の論述対策の最後の追い込みに「東大スパルタン」「京大スパルタン」もうまく使ってくださいね。オンデマンドの申し込みが増えています。